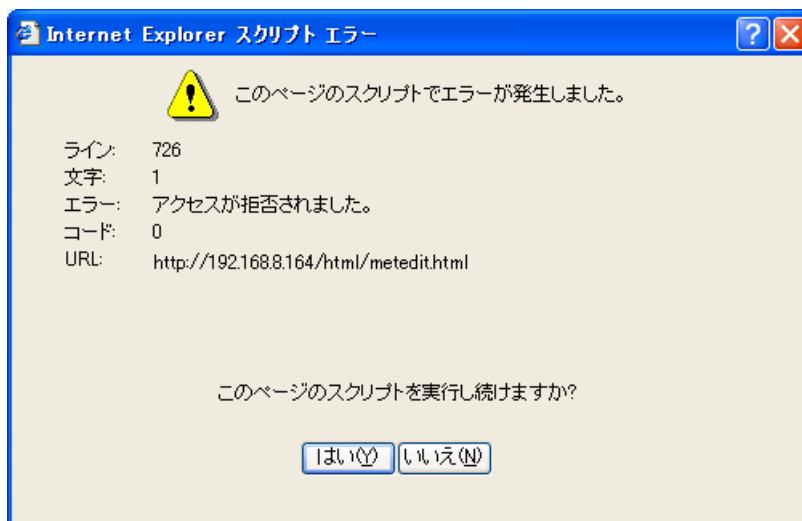
CBM-20A／20Alite における Windows®XP SP2 対処方法

1．はじめに

WindowsXP SP2をインストールしたPCでCBM-20A/20AliteのWebサーバー機能を使用する場合、製品添付の説明書**「CBM-20A/20Aliteをお使いいただく上での注意事項」**(P/N 228-90236)に記載されている「Internet Explorerの設定について」に従って各設定を行っていただきますと、分析動作は問題なく可能です。
しかし、一部の機能（ヘルプファイルの表示）に関しては、以下のような不具合が発生します。

【不具合の内容】
ヘルプファイルの参照先を標準の設定にしている場合、「パラメータ設定」画面で[HELP]ボタンをクリックすると次のようなエラーが表示されます。

この問題の対処方法を以下に記載します。

2．対処方法

対処方法としては、２つの方法があります。

① 別のＰＣのファイルサーバ（PC の共有フォルダを含む）または Web サーバにヘルプファイルを置く

常時アクセスできるファイルサーバ（PC の共有フォルダを含む）または Web サーバをご用意ください。
ヘルプファイルはファイルサーバに置くか、または Web サーバに置いてください。
設定方法については、製品添付 CD-ROM 内の、**CBM-20A 取扱説明書（詳細編）**「2.9 Internet Explorer 操作上の注意事項」の「■ヘルプファイル」の 2)～4) 項をご参照ください。

② ネットワーク上の PC が１台のみの場合、ヘルプファイルのフォルダを共有設定にする

ヘルプファイルをコピーしたフォルダを共有設定にして、そのPC自身の共有フォルダにアクセスすることによりヘルプファイルの閲覧が可能です。上記の**CBM-20A取扱説明書（詳細編）**「2.9 Internet Explorer操作上の注意事項」の「■ヘルプファイル」の2)または3)項をご参照ください。
2)の場合のコンピュータ名は、ご使用のＰＣのコンピュータ名を設定ください。
3)の場合のＩＰアドレスは、ご使用のＰＣのＩＰアドレスを設定ください。

上記対処方法がご使用のネットワーク環境において問題がある場合には、申し訳ありませんがWindows XP SP1a以下をご使用いただくようにお願いいたします。

以上。

付録１：**「CBM-20A/20Aliteをお使いいただく上での注意事項」**(P/N　228-90236)の記載内容

Internet Explorer の設定について

Internet Explorerを利用するにあたり、「ツール」メニューの「インターネットオプション」で下記の設定をしてください。

Ⅰ.　[全般]

「設定」ボタンをクリックし、「インターネット一時ファイルのフォルダ」の「使用するディスク領域」を100MB にする。(*1)

Ⅱ.　[セキュリティ]

① 「イントラネット」を選択し、「サイト」ボタンをクリックする。本機のURL がローカルイントラネットゾーンに含められるように設定する。具体的には、「詳細設定」で本機のURL を追加する。
例) http://192.168.*.*やhttp://192.168.200.99など

② 「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックし、次の設定を行う。
- 「ActiveX コントロールとプラグイン」で「ActiveX コントロールとプラグインの実行」を「有効にする」
- 「ActiveX コントロールとプラグイン」で「スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveX コントロール」を「有効にする」
- 「スクリプト」で「アクティブスクリプト」を「有効にする」
- 「その他」の「ドメイン間のデータソースアクセス」を「有効にする」または「ダイアログを表示する」(*2)
- 「ダウンロード」の「ファイルのダウンロード」を「有効にする」(*3)

Ⅲ.　[詳細設定]
- 「ブラウズ」の「スクリプトエラーごとに通知を表示する」のチェックボックスをチェックする(*4)
- 「印刷」の「背景と色のイメージを印刷する」のチェックボックスをチェックする(*5)

*1 「使用するディスク領域」が大きい場合次のような現象が起こります。
1) 一時ファイルが一杯になると、Web画面の動作（画面の更新）が遅くなります。
2) 一時ファイルが一杯になってディスクの空き領域が少なくなると、動作が不安定になります。

*2 「グループ管理」アプリケーションで使用します。

*3 メソッドファイルやシーケンスファイルをPCに保存するために設定します。

*4 Webアプリケーションでスクリプトエラーが発生すると、画面の更新が停止します。エラーの発生が分かるように設定しておきます。

*5 「印刷」画面からプリンタに印刷するために設定します。(V1.02以降のみ)

付録２：製品添付CD-ROM内の、CBM-20A取扱説明書（詳細編）「2.9 Internet Explorer操作上の注意事項」の「■ヘルプファイル」の記載内容

■ヘルプファイル

製品に付属するCD-ROM に含まれているファイルをPC にコピーして使用します。Web 画面からリンクが張られ、パラメータ設定範囲を表示することができます。

ヘルプファイルは<CD ドライブ:¥Program Files> のフォルダごとドライブC にコピーしてください。

→「5.9.3 「装置管理」画面」P.5-43

標準設定以外の場所にファイルをコピーする場合は下記のようにします。

1) ローカルドライブに外部ヘルプをコピーする場合

ローカルドライブに外部ヘルプをコピーします。

- ここではフォルダがC:¥cbm¥scl¥www2¥HELP であるとします。
- 外部ヘルプを使用可能にするために、外部ファイルの位置を
  file:///C:/cbm/scl/www2/HELP と設定してください。
  →「■ 「詳細設定」画面」P.5-44
- ただし、この場合は、使用するPC すべての同じ名前のフォルダに外部ヘルプをコピーする必要があります。

2) 共有フォルダに外部ヘルプをコピーする場合(コンピュータ名を使用する場合)

共有フォルダを置くコンピュータのローカルドライブに外部ヘルプをコピーします。

- Windowsでコピーしたフォルダを共有フォルダに設定します。(設定方法はWindowsのヘルプを参照してください)
- ここでは、コンピュータ名がPC1、共有フォルダ名がHELP であるとします。
- 外部ヘルプを使用可能にするために、外部ファイルの位置を
  file://PC1/HELP と設定してください。
  →「■ 「詳細設定」画面」P.5-44
- 共有フォルダには、アクセス制限が設定されています。コンピュータの使用ユーザがアクセス権がない場合には利用できません。(詳細は、Windows のヘルプを参照してください)

3) 共有フォルダに外部ヘルプをコピーする場合(IP アドレスを使用する場合)

共有フォルダを置くコンピュータのローカルドライブに外部ヘルプをコピーします。

- Windowsでコピーしたフォルダを共有フォルダに設定します。(設定方法はWindowsのヘルプを参照してください)
- ここでは、IP アドレスが192.168.1.1、共有フォルダ名がHELP であるとします。
- 外部ヘルプを使用可能にするために、外部ファイルの位置を
  file://192.168.1.1/HELP と設定してください。
  →「■ 「詳細設定」画面」P.5-44
- 共有フォルダには、アクセス制限が設定されています。コンピュータの使用ユーザがアクセス権がない場合には利用できません。(詳細は、Windows のヘルプを参照してください)

4) Web サーバに外部ヘルプをコピーする場合

Web サーバに外部ヘルプをコピーします。

- ここでは、IP アドレスが192.168.1.1、パスが/HELP であるとします。
- 外部ヘルプを使用可能にするために、外部ファイルの位置を
  http://192.168.1.1/HELP と設定してください。
  →「■ 「詳細設定」画面」P.5-44